

研究課題名	心臓手術における術後心電図 QT 時間と周術期予後の関連性に関する後ろ向き観察研究
研究の意義・目的	心電図QT時間（Q波の始まりからT波の終わりまでの時間）の延長は致死的不整脈や心不全の程度と関連し、周術期の心電図変化の中で重要な指標の一つです。心臓手術では術後QT時間が高頻度に延長するとの報告があり、術後心電図QT時間の延長が術後の経過を予測できる可能性があります。そこで本研究では既に全身麻酔下で心臓手術を受けた患者さんの診療記録(カルテ)から種々のデータを抽出し、術後経過に差があるかを調べます。
研究を行う期間	倫理委員会承認後～2022年10月
研究協力をお願いしたい方(対象者)	2018年1月1日より2020年9月30日までに大阪市立大学医学部附属病院で心臓手術を受けた患者さんが対象となります。
協力をお願いしたい内容と研究に使わせていただく試料・情報等の項目	診療の過程で得られた下記項目を本研究に使用させてください。 診療情報等：【病歴、診断名、年齢、性別、既往歴、検査データ、麻酔記録】
試料・情報の他機関への提供	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行い、他の施設に試料・情報は提供いたしません。
この研究を行っている共同研究機関	この研究は大阪市立大学医学部附属病院麻酔科のみで行います。
試料・情報を管理する責任者	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 研究責任者 堀 耕太郎
本研究の利益相反	利益相反の状況については大阪市立大学利益相反マネジメント委員会に報告し、その指示を受けて適切に管理します。本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への協力を拒否することができます。また、研究への協力を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 麻酔科学 (担当者氏名) 堀 耕太郎 電話番号：(06) 6645-2186 メールアドレス：k.hori@med.osaka-cu.ac.jp